

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

〈報道関係のみなさま〉

認知症当事者とともにつくるウェブメディア「なかまある」公開記念イベント 1億人のスイッチを切り替える～認知症フレンドリー社会を目指して～

株式会社朝日新聞社(代表取締役社長:渡辺雅隆)は、認知症当事者とともにつくるウェブメディア「なかまある」を9月に立ち上げます。サイトオープンを記念し、公開イベントを実施します。

(定員 500名。参加無料)

【日時】2018年9月22日(土)17:15～18:00(17:00開場)

【場所】東京コンベンションホール(東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン 5F)

【タイトル】1億人のスイッチを切り替える～認知症フレンドリー社会を目指して～

【出演者】

「注文をまちがえる料理店」発起人 小国士朗(おぐに・しろう)さん

「若年性アルツハイマーの母と生きる」著者 岩佐まりさん

「なかまある」編集長 富岡史穂

※一般申込は受付を終了させていただきました。



小国士朗さん



岩佐まりさん

いま、「認知症社会」という言葉を聞いて、自分事と受け止める人は、どれくらいいるでしょうか。

「自分はまだ若い」「家族は元気」「健康には気を遣っている」—そんな風に認知症というテーマと向き合おうとしない方の「自分事スイッチ」をONにするにはどうしたらいいのか、公開の「作戦会議」を開きます。

ゲストは、認知症の方々が従業員をつとめる期間限定のレストラン「注文をまちがえる料理店」を構想して実現にこぎつけ、国内のみならず世界からも注目されている小国士朗さん、50代でアルツハイマー

>

contact

〈お問い合わせ〉

朝日新聞社 総合プロデュース室
TEL 03-3545-0131(大代表)



朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

型認知症と診断された母親との日々をブログに綴り、認知症を「限られた人たちの病気から、もっと身近な存在に近づきたい」と情報発信を続けるフリーアナウンサー岩佐まりさん。認知症を語るには少し早いと思われがちな世代の目線から、認知症フレンドリー社会を目指して私たちが出来ることを語り合います。コーディネーターは「なかまある」編集長の富岡史穂が務めます。

なお、当プログラムは朝日新聞創刊140周年記念イベント「認知症フレンドリーイベント～誰もが安心して暮らせる社会を目指して～」の一環として行われます。

◇なかまある◇

認知症とともに生きる人たちが自分らしさを大切にしながら暮らし続けていくことを支える、朝日新聞社の新しいウェブメディアです。全国の認知症カフェ検索など様々なコンテンツを展開していきます。どうぞご期待ください。

URL : <https://nakamaaru.asahi.com>



「私」を続ける みんなと続ける

【取材申し込みは下記までお問い合わせください】

認知症フレンドリーイベント事務局(株式会社シータイム内) 担当:高田

Tel.03-6256-0396 受付時間:平日 10:00~17:00

E-mail:nakamaaru-support@asahi.com

>

contact

〈お問い合わせ〉

朝日新聞社 総合プロデュース室
TEL 03-3545-0131(大代表)